

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2014/04 後期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆G・W（黄金週間）の挑戦 まずこの一歩 ～計画学習のすすめ～◆

新学期が始まり、学校にも少しずつ慣れてきた頃でしょうか。来週から、1週半にわたって世間ではゴールデン・ウィークに入ります。部活動の練習試合や大会など忙しい日々が待っている人も多いでしょう。4月はあっという間に終わったという人も多いでしょう。

さて、4月当初のことを思い出してください。湖陵生の中には「新学年からは勉強頑張ろう」と思いを新たにしていた人も多いことと思います。その気持ちは、一体どこに行ってしまったのでしょうか。答えは簡単です。「どこにも行っていません。」自分で海の底に沈めているだけです。

4月から気持ち新たに学習に取り組んでいる人、それを継続している人、立派です。是非このG・Wでそれが途切れないよう、頑張ってください。そういう人については、今回の通信は「学習を途切れないようにするため」「より質の高い学習をするため」に利用して下さい。

問題は、自分の意欲を海の底に沈めて、自分でも気づかなかったことにしようとしている人、何から取り組んでいいか分からず手をこまねいている人、G・Wをひとつのきっかけにしてほしいです。チャンスはいつでも訪れるわけではありません。しかし、G・Wは明らかにチャンスなのです。

■センター試験まであと1年なんてとんでもない。残り、1年の約74%

表題にある通りです。入試までのこの「距離感（時間の感覚）」をしっかりと自分にたたき込むことが、まず大切です。3年生以外の人、無関係ではありませんよ。4月のこの時点で、大学入試センター試験までの1年間のうち、約4分の1の時間はすでに経過しています。残り1年の約4分の3の時間しかないのです。学習の密度や質以前に、絶対的な学習時間不足に陥らないよう、このG・Wの使い方が大切なのです。

■少しでも計画したり、見通しをもってやった勉強＝「勉強」

湖陵生の皆さんに尋ねます。この4月どのくらい「勉強」しましたか。「勉強したら受かる可能性が増す」という言葉は正しいと思いますが、そこで使われている「勉強」の意味は、上に示した通りです。そこまで考えていなかったという人、今日からはじめましょう。

■どうする 今日からの「勉強」

計画や見通しをもって勉強すると一言と言っても、そう簡単なことではありません。簡単なことではないので、それを実行できた人は、きちんと夢の実現に近づけるのだと思います。

1年生には宿泊研修で確認しましたが、綿密な計画でなくても、学校の休み時間に、少しでも「今日自宅で学習すること」を箇条書きにしてみるなど、できることから「見通し」をつける練習をしましょう。G・Wについては、裏面のシートを利用するのもひとつの方法です。

■「計画」や「見通し」をつけるときのコツ

①達成したい目標を決める。

②取り組みたい内容を考えて、箇条書きにする。

③箇条書き例
・4STEPのp○～p△
・学校の宿題プリント2枚

④取り組んだら、「印をつける」など、終わったことを自分で確認できるようにする。

⑤計画したことをどこでやるか、時間表に記入してみる。

⑥これがコツの中のコツ → 「ふりかえり」

・G・W最終日、計画と実際の達成度合いとを比較して、考えたことを書いてみる。

・「よかった」「よくできた」「あまりできなかった」「半分しかできなかった」などと単純化しないことが一番大事。それは、計画表とおわった印をみれば他人でも書くことができる。他人でも書くことのできるものならば、あまり書く意味がないですね。書く意味は自分で作るんですよ。足りなかったもの、うまくいかなかった原因、うまくできた理由などを、単純化せずに入れられるだろうか。制限時間は15分です。

☆ ⑥が「コツのコツ」たる理由

計画を立てて実際学力を伸ばした人とそうでない人との違いがここにあると考えるからです。書いていなくても、達成度合いなどを面談で、克明に語ることのできる生徒は、自然と次の計画や見通しを立てるときに経験を先輩方は活かしていた気がします。

⑦午後から部活動の練習等がある人へ

部活動へ行くまでの「午前中の時間」を大切にしてほしいです。「朝ゆっくり起きて、朝だか昼だかわからない食事を食べ、時間がきたと言って出かける」というスタイルでは困ります。「午前中の時間の使い方」が自分の進路を切り開く時間だと考え、1時間でも学習して部活動に行くことを強く勧めます。「しんどかったけれど、やってよかった」という先輩方の声も多く聞きますから、午前中学習を実践してみましょう。

部活動前に学習すると、帰宅後も学習になぜか入りやすいようです。午前中に学習しなかった場合、帰宅後もダラダラして、メリハリがつかないまま、就寝時間になってしまったというのは、よく聞く話です。

■余力のある人へ

守るだけでは勝負に勝てません。「攻め」が大切です。今時期の（受験）勉強における「攻め」とは、「難しいことではなく、簡単そうに見えるが、他の人が努力していないようなことを実行すること」です。「計画」「見通し」に関することをやった上で、さらに、「攻め」のことも考えるとよいでしょう。「攻め」しかせず、しなければならない宿題やG・Wあけの授業準備などがおろそかになってはいけません。

★体を休めつつ、「勉強」にも取り組み、充実したG・Wにしてください。

■GWの計画を考える () 年 () 組 () 番 ()

①G・Wに達成したい目標を決めます。

②各教科で取り組みたい(取り組まなければならない) ことを箇条書きにして整理します。

【教科名】

【教科名】

【教科名】

【教科名】

【教科名】

☆欄は作りましたが、全教科せよという意味ではありません。個人の作戦にゆだねます。

③計画したことをどこでやるか、時間表に記入してみる。(登校日も含む)

	27(日)	28(月)	29(火)	30(水)	1(木)	2(金)	3(土)	4(日)	5(月)	6(火)
6:00										
7:00										
8:00										
9:00										
10:00										
11:00										
12:00										
13:00										
14:00										
15:00										
16:00										
17:00										
18:00										
19:00										
20:00										
21:00										
22:00										
23:00										
0:00										

■ふりかえり